

ダイワ・ロシア株ファンド

運用報告書(全体版)

第24期

(決算日 2020年2月20日)

(作成対象期間 2019年8月21日～2020年2月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ロシアの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ロシア株マザーファンドの受益証券
	ダイワ・ロシア株マザーファンド	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。)ならびにロシアの企業のDR(預託証券)
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
20期末(2018年2月20日)	10,081	50	18.1	8,449	18.0	92.7	—	5,918
21期末(2018年8月20日)	9,400	0	△ 6.8	7,764	△ 8.1	87.5	—	4,206
22期末(2019年2月20日)	10,197	100	9.5	8,736	12.5	91.0	—	3,660
23期末(2019年8月20日)	10,355	50	2.0	9,047	3.6	92.7	—	3,054
24期末(2020年2月20日)	12,427	600	25.8	11,692	29.2	92.5	—	3,538

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIロシア10/40指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIロシア10/40指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIロシア10/40指数(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：10,355円

期末：12,427円（分配金600円）

騰落率：25.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてロシアの株式に投資した結果、ロシア株式市況が堅調に推移したことやロシア・ルーブルが対円で上昇（円安）したことなどを受けて、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ロシア株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2019年8月20日	10,355	—	9,047	—	92.7	—
8月末	10,667	3.0	9,341	3.3	93.1	—
9月末	11,257	8.7	9,990	10.4	88.4	—
10月末	12,063	16.5	10,630	17.5	92.3	—
11月末	11,965	15.5	10,600	17.2	87.9	—
12月末	12,922	24.8	11,507	27.2	96.5	—
2020年1月末	12,883	24.4	11,529	27.4	91.5	—
(期末)2020年2月20日	13,027	25.8	11,692	29.2	92.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 8. 21 ~ 2020. 2. 20)

■ロシア株式市況（現地通貨建て）

ロシア株式市況は上昇しました。

ロシア株式市況は、当作成期首から、米中貿易摩擦懸念の後退や中東の地政学リスクの高まりを背景とした原油価格上昇などを受けて、上昇基調となりました。2019年11月以降は、利益確定の売りに押される場面もあり、一進一退の動きとなりました。12月には、米中両国が通商協議における第1段階の合意に達したことや、英国総選挙の与党勝利により英国のEU（欧州連合）離脱への不透明感が後退したことなどから、堅調な推移となりました。しかし2020年1月後半以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を嫌気したリスク回避の動きが広がり、反落する展開となりました。

■為替相場

ロシア・ルーブルは対円で上昇しました。

当作成期首から、ロシア・ルーブルの対円為替相場は、原油価格の上昇などを受けて上昇しました。その後も、米中通商協議の進展期待が高まったことなどから、市場心理が改善したため、上昇しました。2019年10月中旬以降は横ばい推移が続きましたが、12月には米中通商協議における第1段階の合意などを受けて上昇しました。2020年1月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて新興国通貨が全般に下落する中、ロシア・ルーブルも対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・ロシア株マザーファンド

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。キャッシュフローの増加や配当性向の上昇が見込まれるエネルギーセクター、鉄鋼価格の回復や金価格上昇などの恩恵が期待される素材セクターなどに注目していきます。株式組入比率については、原油価格、世界経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

ポートフォリオについて

(2019. 8. 21 ~ 2020. 2. 20)

■当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資しました。

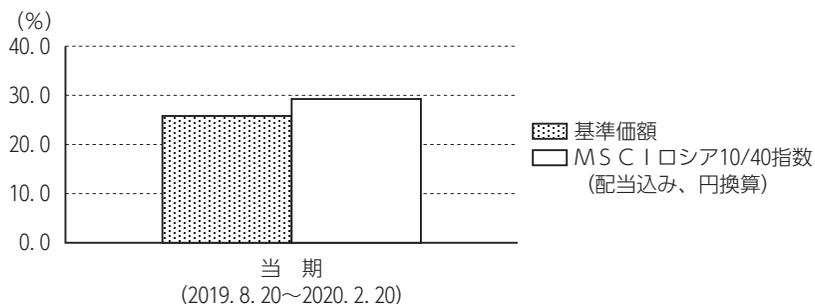
■ダイワ・ロシア株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は、市場環境などに応じて機動的に変更しましたが、85%程度以上を維持しました。業種では、エネルギー、素材、金融セクターなどを高位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年8月21日 ～2020年2月20日	
当期分配金（税込み）	(円)	600
対基準価額比率	(%)	4.61
当期の収益	(円)	600
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	4,003

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	237.39円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,926.66
(c) 収益調整金		1,184.51
(d) 分配準備積立金		1,255.12
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		4,603.69
(f) 分配金		600.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		4,003.69

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・ロシア株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・ロシア株マザーファンド

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。配当政策の改善やキャッシュフローの有効活用が見込まれるエネルギー関連銘柄などに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 8. 21～2020. 2. 20)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	111円	0. 925%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12, 031円です。
(投 信 会 社)	(53)	(0. 441)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(53)	(0. 441)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(5)	(0. 044)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	13	0. 105	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(13)	(0. 105)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	22	0. 180	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(19)	(0. 162)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0. 015)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	146	1. 210	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

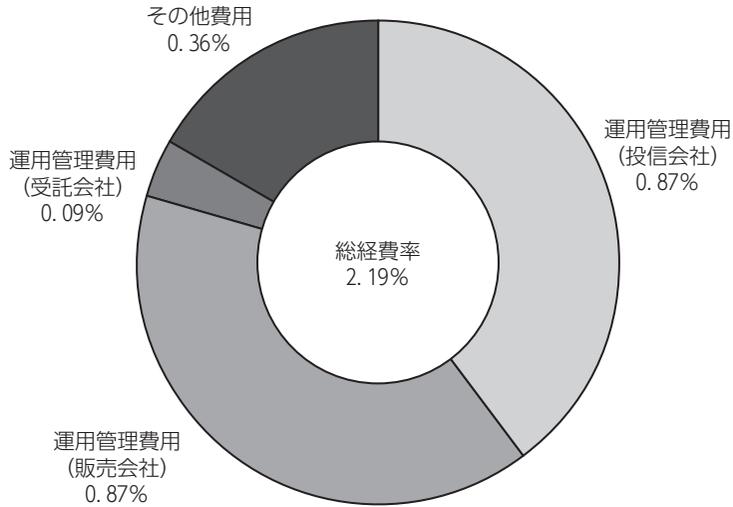
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.19%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ・ロシア株ファンド

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年8月21日から2020年2月20日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	112,828	180,000	295,729	461,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年8月21日から2020年2月20日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・ロシア株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,619,503千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,159,067千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.46

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・ロシア株マザーファンド	2,336,244	2,153,343	3,524,807

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年2月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・ロシア株マザーファンド	3,524,807	94.1
コール・ローン等、その他	220,481	5.9
投資信託財産総額	3,745,289	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.28円です。

(注3) ダイワ・ロシア株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(3,491,291千円)の投資信託財産総額(3,524,843千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,745,289,495円
コール・ローン等	220,481,756
ダイワ・ロシア株マザーファンド (評価額)	3,524,807,739
(B) 負債	206,897,847
未払収益分配金	170,844,156
未払解約金	3,851,512
未払信託報酬	32,106,353
その他未払費用	95,826
(C) 純資産総額 (A - B)	3,538,391,648
元本	2,847,402,606
次期繰越損益金	690,989,042
(D) 受益権総口数	2,847,402,606口
1万口当り基準価額 (C / D)	12,427円

* 期首における元本額は2,949,791,180円、当作成期間中における追加設定元本額は332,537,790円、同解約元本額は434,926,364円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,427円です。

■損益の状況

当期 自 2019年 8月21日 至 2020年 2月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 7,459円
受取利息	732
支払利息	△ 8,191
(B) 有価証券売買損益	724,403,892
売買益	800,660,064
売買損	△ 76,256,172
(C) 信託報酬等	△ 32,202,192
(D) 当期損益金 (A + B + C)	692,194,241
(E) 前期繰越損益金	281,383,103
(F) 追加信託差損益金	△ 111,744,146
(配当等相当額)	(337,280,252)
(売買損益相当額)	(△ 449,024,398)
(G) 合計 (D + E + F)	861,833,198
(H) 収益分配金	△ 170,844,156
次期繰越損益金 (G + H)	690,989,042
追加信託差損益金	△ 111,744,146
(配当等相当額)	(337,280,252)
(売買損益相当額)	(△ 449,024,398)
分配準備積立金	802,733,188

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:6,949,982円(未監査)

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	67,595,237円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	548,597,795
(c) 収益調整金	337,280,252
(d) 分配準備積立金	357,384,312
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,310,857,596
(f) 分配金	170,844,156
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,140,013,440
(h) 受益権総口数	2,847,402,606口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	600円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ダイワ・ロシア株マザーファンド

運用報告書 第24期 (決算日 2020年2月20日)

(作成対象期間 2019年8月21日～2020年2月20日)

ダイワ・ロシア株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ロシアの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みま す。）ならびにロシアの企業のDR（預託証券）
株式組入制限	無制限

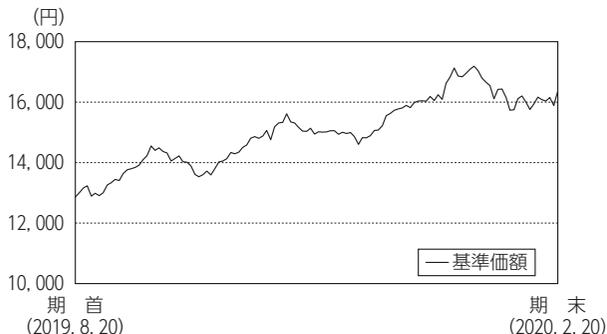
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		MSCIロシア10/40指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰落率 %	騰落率 %	騰落率 %	%	%
(期首) 2019年 8月20日	12,860	—	9,047	—	94.2	—
8月末	13,261	3.1	9,341	3.3	94.4	—
9月末	14,029	9.1	9,990	10.4	88.5	—
10月末	15,062	17.1	10,630	17.5	92.0	—
11月末	14,964	16.4	10,600	17.2	88.2	—
12月末	16,189	25.9	11,507	27.2	96.9	—
2020年 1月末	16,156	25.6	11,529	27.4	92.3	—
(期末) 2020年 2月20日	16,369	27.3	11,692	29.2	92.9	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCIロシア10/40指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIロシア10/40指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIロシア10/40指数(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,860円 期末：16,369円 騰落率：27.3%

【基準価額の主な変動要因】

当作成期の基準価額は、ロシア株式市況が堅調に推移したことやロシア・ルーブルが対円で上昇(円安)したことなどを受けて、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ ロシア株式市況(現地通貨建て)

ロシア株式市況は上昇しました。

ロシア株式市況は、当作成期首から、米中貿易摩擦懸念の後退や中東の地政学リスクの高まりを背景とした原油価格上昇などを受けて、上昇基調となりました。2019年11月以降は、利益確定の売りに押される場面もあり、一進一退の動きとなりました。12月には、米中両国が通商協議における第1段階の合意に達したことや、英国総選挙の与党勝利により英国のEU(欧州連合)離脱への不透明感が後退したことなどから、堅調な推移となりました。しかし2020年1月後半以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を嫌気したリスク回避の動きが広がり、反落する展開となりました。

○ 為替相場

ロシア・ルーブルは対円で上昇しました。

当作成期首から、ロシア・ルーブルの対円為替相場は、原油価格の上昇などを受けて上昇しました。その後も、米中通商協議の進展期待が高まったことなどから、市場心理が改善したため、上昇しました。2019年10月中旬以降は横ばい推移が続きましたが、12月には米中通商協議における第1段階の合意などを受けて上昇しました。2020年1月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて新興国通貨が全般に下落する中、ロシア・ルーブルも対円で下落しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。キャッシュフローの増加や配当性向の上昇が見込まれるエネルギーセクター、鉄鋼価格の回復や金価格上昇などの恩恵が期待される素材セクターなどに注目していきます。株式組入比率については、原油価格、世界経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

◆ ポートフォリオについて

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託しております。株式組入比率は、市場環境などに応じて機動的に変更しましたが、85%程度以上を維持しました。業種では、エネルギー、素材、金融セクターなどを高位としました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは、運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドは、豊富な天然資源の強みを背景に、国内需要の拡大など産業構造の変化が進むロシア経済において、成長が期待される企業に投資することにより、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。配当政策の改善やキャッシュフローの有効活用が見込まれるエネルギー関連銘柄などに注目しています。株式組入比率については、原油価格、世界経済、政治、金融市場の動向などをにらみながら、機動的に対応していきます。

外貨建資産の運用にあたっては、デカ・インベストメント社に運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行います。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	16円 (16)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	27 (24)
(その他)	(2)
合 計	43

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

株 式

(2019年8月21日から2020年2月20日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
ロシア	2,732,483 ()	19,811 ()	213,513.7	22,421

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

株 式

(2019年8月21日から2020年2月20日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	期 付		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS (ロシア)	千株 135	千円 192,623	円 1,426	X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR (オランダ)	千株 66.5	千円 245,340	円 3,689
SURGUTNEFTEGAS PJSC (ロシア)	2,450	178,192	72	NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	12.25	243,027	19,838
ALROSA PJSC (ロシア)	1,300	163,067	125	LUKOIL PJSC (ロシア)	17.5	180,356	10,306
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S (ロシア)	6.75	141,910	21,023	SURGUTNEFTEGAS PJSC (ロシア)	2,000	177,830	88
POLYUS PJSC (ロシア)	10.5	135,921	12,944	ALROSA PJSC (ロシア)	1,000	150,374	150
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR (オランダ)	33.5	126,308	3,770	MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS (ロシア)	100.5	146,243	1,455
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ (ロシア)	650	114,802	176	SURGUTNEFTEGAS-PREFERENCE (ロシア)	2,100	138,826	66
LUKOIL PJSC (ロシア)	10	114,791	11,479	MMC NORILSK NICKEL PJSC (ロシア)	4	121,901	30,475
NOVOLIPETSK STEEL PJSC (ロシア)	500	113,162	226	NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR (ロシア)	55	120,641	2,193
RUSHYDRO PJSC (ロシア)	85,000	104,988	1	NOVOLIPETSK STEEL PJSC (ロシア)	500	120,084	240

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

ダイワ・ロシア株マザーファンド

■組入資産明細表
外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円		
(ロシア)	百株	百株				
MOBILE TELESYSTEMS-SP ADR	1,700	1,650	1,811	201,605	コミュニケーション・サービス	
VTB BANK JSC -GDR-REG S	3,000	5,500	815	90,765	金融	
NOVOLIPETSK STEEL PJSC-GDR	550	—	—	—	素材	
MAGNIT PJSC-SPON GDR REGS	1,005	1,350	1,761	196,047	生活必需品	
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR	530	200	708	78,786	生活必需品	
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S	120	65	1,150	128,027	エネルギー	
PHOSAGRO PJSC-GDR REG S	525	—	—	—	素材	
DETSKY MIR PJSC	—	1,000	186	20,793	一般消費財・サービス	
TATNEFT PJSC - PREF	700	850	983	109,479	エネルギー	
ENEL RUSSIA PJSC	—	100,000	160	17,849	公益事業	
ROSSETI PJSC	—	100,000	264	29,453	公益事業	
INTER RAO UES PJSC	190,000	175,000	1,736	193,242	公益事業	
SURGUTNEFTEGAS-PREFERENCE	29,000	9,500	527	58,686	エネルギー	
ALROSA PJSC	—	3,000	383	42,656	素材	
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ	6,380	8,500	1,492	166,079	金融	
SBERBANK OF RUSSIA PJSC	6,250	4,700	1,845	205,378	金融	
TRANSNEFT PJSC	—	2.3	591	65,788	エネルギー	
SEVERSTAL PJSC	800	450	646	71,977	素材	
POLYUS PJSC	150	205	2,614	290,982	素材	
MAGNITOGORSK IRON & STEEL WO	7,000	—	—	—	素材	
TATNEFT PJSC	1,350	1,600	1,925	214,311	エネルギー	
SURGUTNEFTEGAS PJSC	—	4,500	335	37,374	エネルギー	
MMC NORILSK NICKEL PJSC	68	50	1,770	197,049	素材	
GAZPROM PJSC	7,500	7,250	2,643	294,223	エネルギー	
ROSNEFT OIL CO PJSC	1,000	1,300	951	105,935	エネルギー	
LUKOIL PJSC	325	250	2,559	284,768	エネルギー	
RUSHYDRO PJSC	—	850,000	995	110,809	公益事業	
FEDERAL GRID CO UNIFIED ENER	—	1,500,000	550	61,276	公益事業	
ファン ド 合 計	株 数、金 額	257,953	2,776,922.3	29,415	3,273,350	
	銘柄数<比率>	20 銘柄	25 銘柄		<92.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年2月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	3,273,350 千円	92.9 %
コール・ローン等、その他	251,492	7.1
投資信託財産総額	3,524,843	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝111.28円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,491,291千円)の投資信託財産総額(3,524,843千円)に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年2月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,524,843,027円
コール・ローン等	251,492,926
株式(評価額)	3,273,350,101
(B) 負債	—
(C) 純資産総額(A-B)	3,524,843,027
元本	2,153,343,356
次期繰越損益金	1,371,499,671
(D) 受益権総口数	2,153,343,356口
1万口当り基準価額(C/D)	16,369円

*期首における元本額は2,336,244,786円、当作成期間中における追加設定元本額は112,828,247円、同解約元本額は295,729,677円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ロシア株ファンド2,153,343,356円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は16,369円です。

■損益の状況

当期 自 2019年8月21日 至 2020年2月20日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	72,899,061円
受取配当金	72,781,973
受取利息	123,431
支払利息	△ 6,343
(B) 有価証券売買損益	734,605,142
売買益	772,631,270
売買損	△ 38,026,128
(C) その他費用	△ 6,145,606
(D) 当期損益金(A+B+C)	801,358,597
(E) 前期繰越損益金	668,239,644
(F) 解約差損益金	△ 165,270,323
(G) 追加信託差損益金	67,171,753
(H) 合計(D+E+F+G)	1,371,499,671
次期繰越損益金(H)	1,371,499,671

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。